

# 第70回富山県小学生 火災予防研究発表大会 発表文集

開催日 令和6年11月9日（土）

会場 富山県教育文化会館ホール

共催 富山県  
（一財）日本防火・防災協会  
（公財）富山県消防協会  
富山県少年女性防火委員会  
富山県女性防火クラブ連絡協議会  
（株）北日本新聞社  
北日本放送（株）  
（一社）日本損害保険協会北陸支部

後援 （一財）消防試験研究センター富山県支部  
（公社）富山県危険物安全協会連合会  
（一財）富山県消防設備保守協会

## 刊行にあたって

この大会は、秋季全国火災予防運動（11月9日から15日まで）にあわせ開催しているもので、小学生の皆さんの火災予防に関する研究や体験等の発表を通して防火意識の向上を図り、火災のない安全で住みよい地域づくりを推進することを目的としています。

本県は、出火率（人口1万人当たりの出火件数）が平成3年から令和5年までで、33年連続で全国最小を達成している火災の少ない県です。しかしながら、令和5年においても178件の火災が発生しており、21名の方が亡くなっています。これらの火災は、たばこの火の不始末やたこ足配線、電気機器の誤使用等、私たちの日常生活での不注意が主な原因となっています。

かけがえのない命や財産を火災から守るためには、日頃から火災を起こさないよう意識して生活することが大切であり、少年消防クラブをはじめとする民間防火組織の皆さんのご協力もいただきながら、県民の防火意識の向上に取り組んでいくことが必要です。

今回の皆さんの発表を聞かせていただき、アンケートや取材などを通して調べたことをもとに、地域の火災をなくすにはどうすればよいか考え、ポスターやチラシなどを作成して呼びかけを行うなど、熱心に取り組んでくれたことがよくわかりました。皆さんには、今回学んだことを家族や友人、地域の方に伝えていただき、皆さんの周りから火災が起きないように取り組んでいただけたらと思います。

この文集では、今大会に出場された13校の皆さんの研究発表を紹介しています。先生方におかれましては、今後の少年消防クラブの活動を展開されるにあたり、本誌を大いに活用していただければ幸いです。

令和6年12月

富山県危機管理局参事・消防課長 辻井 秀幸

第70回 富山県小学生火災予防研究発表大会出場者名簿

出場順	所属支部	学校名・学年	氏名	演題	賞	項
1	射水	射水市立放生津小学校5年生 (放生津小学校少年消防クラブ)	石井 真央 野上 実莉 コガ リュウチ 檜物 花楓 竹部 綺乃 宮崎 龍哉 棚辺 慶一 森 陸 作道 心 吉田 楓音 津田 愛莉	守ろう放生津 ～大震災に備えよう～	銅賞	11
2	小矢部	小矢部市立大谷小学校5年生	岩村 真名朋 高橋 伶奈 大鋸谷 駿生 野手 彩葉 小松 唯花 八十住 瑠菜 眞田 和	電気火災を防ぐ方法を見つけ出せ ～大谷探偵団～	金賞	5
3	黒部	黒部市立石田小学校4年生	千代 愛莉 濱田 勝希 谷口 幸吉 宮崎 楓和 中村 彩芭 吉松 駿	火事0をめざして 一地域とのつながりを大切に	努力賞	15
4	南砺	南砺市立福光東部小学校5年生 (南砺市福光東部少年消防クラブ)	河合 祐甫 中田 和花 木村 夏朔 永松 あずみ 古嶋 千鶴 日西 咲希永 辻 虹々菜 町永 悠太	地域の防火意識を高めよう ～原因を知り、まず予防!!～	銀賞	9
5	富山	富山市立八尾小学校5年生 (八尾少年消防クラブ)	大上 瑛士 島崎 一花 大上 倫生 戸口 裕雅 柴田 琉生 松永 大湖	火事から守ろう私たちの八尾地域 ～電化製品でも火災は発生する!?～	努力賞	17
6	立山	立山町立立山小学校4年生	唐沢 颯良 土井 保乃花 唐沢 旬太朗 西田 好ノ美 佐伯 梨菜 濱治 瑚幸 瀬口 樹 宮本 向茉莉 富田 つき 村井 翔汰	立山の伝統と文化、命を守り隊	特選	3
7	富山	富山市立呉羽小学校5年生	岡嶋 あさひ 馬淵 湊也 近郷 結星 邑崎 奏太郎 鈴木 颯太 室林 美羽 武田 七海 和田 環	BFCの一員として 考えよう! 呉羽のためにできること	努力賞	19
8	入善	入善町立上青小学校5年生 (入善町少年消防クラブ 上青小学校班)	大浦 美羽 四方 日葵 木村 優里 中瀬 明里 澤田 陽	僕たち・私たちの手で地域を守ろう! 上青っ子火災0プロジェクト	努力賞	21
9	高岡	高岡市立成美小学校6年生 (高岡市立成美小学校少年少女消防クラブ)	浅岡 麗愛奈 南 成 岩崎 健人 宮崎 舞友 堂端 華帆 山下 来斗 野谷 一華	火災のない成美校区に ～私たちの提案～	銅賞	13
10	氷見	氷見市立朝日丘小学校6年生	菊地 遥慎 宮下 友杜 岸田 悠希 安井 悠真 田中 実篤	地震にも火災にも負けない!最強の防災術!	努力賞	23
11	富山	富山市立光陽小学校5年生	井ノ口 璃奈 中川 埜乃 小柴 樺月 松本 理紗 笹原 まなみ 沖井 千夏	ぼくたち・わたしたち 光陽校区防火リーダー! ～火災0の 安心な光陽校区を目指して～	努力賞	25
12	富山	富山市立福沢小学校5年生、6年生	新井 滯 山岸 由弦 茶谷 和磨 吉川 宙翔 宮原 ほたる	みんながすこしやすいまちへ ～福沢火災予防プロジェクト～	努力賞	27
13	高岡	高岡市立野村小学校5年生 (高岡市立野村小学校BFC)	上嶋 一颯 春多 玲那 佐久間 琉奈 山田 楓雅 立野 佳歩	野村防火プロジェクト ～校区の火災ゼロを目指して～	銀賞	7
		計13校	計89名			

## 特 選

# 立山の伝統と文化、命を守り隊

立山町立立山小学校4年

唐沢 颯良、唐沢 旬太郎、佐伯 梨菜、瀬口 樹、富田 つき

土井 保乃花、西田 好ノ美、濱治 瑚幸、宮本 向茉莉、村井 翔汰

### 立山の伝統と文化、命を守りたい

ぼくたちは、社会の学習で私たちの校区には伝統ある建物や文化がたくさんあることを学びました。

宮路の獅子舞、稚児舞、立山権現太鼓。そして、立山開山で知られる3つの雄山神社。今も大切に受け継がれています。



学校のそばにある岩嶺雄山神社は、1300年もの間、守り続けられてきています。すご〜い！

私たちは、どのように守り続けているか宮司さんに教えてもらいました。

一番気を付けているのは火事！！ 小さな火でも全てを失ってしまうんだ。

そのために消火設備が最新式ですごい！

「熱探知器」「消火器」「屋外消火栓」「自動放水銃」

それだけじゃないよ！大切なのが人々の協力

「自衛消防隊」と「消防団」「消防署」の人たちが協力し、守っていることが分かりました。



お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、地域の人たちが受け継いできた

「立山の伝統と文化、命」を私たちも火事から守りたい！！

### 自分たちにできること 1つ目 「自分の命は自分で守る」

37年前、町内の学校で火事が起きました。

えっ〜！火事が起きたらどうしたらいいの？

煙体験と消火体験をして考えてみました。

<けむり体験>

前が見えない〜！

「腰を低く」「口をおおって」「壁をつたって」「逃げろ！」

火事のはきは、煙で命を落とすことが多いそうです。

怖かったけれど、落ち着いて行動することが大切だね。



## <消火体験>

私、消火器を使ったことないよ！

「ピン、ポン、パン」だよ。

「ピンをぬく」(ピン)

「ポンとホースをはずす」(ポン)

「パンとレバーをにぎる」(パン)

「ピン、ポン、パン」私にもできたよ！

避難の仕方や使い方を知っておくことが大事だね。



## 自分たちにできること 2つ目 「火事の予防」

みんなで学校の防火設備を調べました。

学校も雄山神社のように防火設備で守られていました。

全校児童よりも多い火災報知器があってびっくりしました。

雄山神社にはなかった防火シャッター、防火ドアもありました。

火災の原因になるコンセントを数えたら、300個以上もあったよ。

「危ない！ほこりがたまってる！」

「あっ、たこ足配線発見！」

火事にならないように掃除をしました。

たこ足配線を解消して、火事を予防しました。



## 自分たちにできること 3つ目 「みんなに呼びかけ」

防火について立山小学校に通う子供の家族にアンケートを取りました。

その結果、火災報知器がないという家庭がなんと30パーセント、消火器がないという家庭が70パーセントもあることが分かりました。

火事の早期発見や予防を呼びかけて、みんなを火事から守りたいと考えました。

ランチルームや学習発表会で全校や地域の人へ呼びかけました。

ぼくたち、私たちは、これからも

「自分の命は自分で守る」

「火事を予防する」

「みんなに呼びかける」

を続けて、「立山の伝統と文化、命」を守っていきたいです。

がんばるぞ！お～！



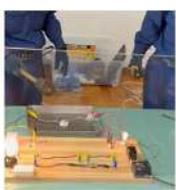
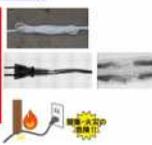
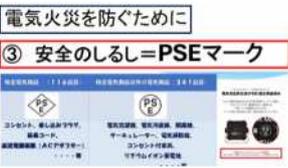
# 電気火災を防ぐ方法を見つけ出せ

## ～大谷探偵団～



小矢部市立大谷小学校 5年

岩村 真名朋、大鋸谷 駿生、小松 唯花、眞田 和  
高橋 伶奈、野手 彩葉、八十住 瑠菜

児童の言葉	提示資料
<p>① ぼくたちは 火災を防ぐ大谷探偵団！</p> <p>② わぁ コンセントから火が出てる！</p> <p>③ 大変だ！このままだと、火事になるよ！</p> <p>④ 電気って火を使っていないのに、どうして火が出るんだろう？</p> <p>⑤ 消防署の方に火災について話を聞いてみよう。</p> <p>⑥ 電気製品から発火して起こる火災のことを電気火災と言うんだって。</p> <p>⑦ 私たちは、消防署の方の実演で電気実験盤をもとに火が起きる様子を観察しました。</p> <p>⑧ 電気コードから煙や火が出てびっくりしたよね。</p> <p>⑨ 火事につながると思うとこわいよね！</p> <p>⑩ 消防署の方から、3つの大切なポイントを学びました。</p> <p>⑪ 1つめは、電気プラグは、しっかり差し込み、コンセントにほこりをためないこと。</p> <p>⑫ 2つめは、コードを束ねない、引っ張らない、強く曲げない、踏みつけないこと。</p> <p>⑬ 3つめは、安全基準に合格している PSE マークがついている電気製品やコードを使うことです。</p> <p>⑭ この3つを守ることで、大切な自分の命や家族の命、家を守ることにつながるね。</p> <p>⑮ 私たちは、学校や家庭の危険なところがないか調査をしました。</p> <p>⑯ みんな、調査の結果はどうだった？</p> <p>⑰ よく探すと、PSE マークは、いろいろな物についていることが分かったよ。</p> <p>⑱ でも、これを見てよ！危険なところがたくさん見つかったよ！</p> <p>⑲ 導線がむき出しになっている電気コードやほこりがかぶっているコンセントがあるよ。</p> <p>⑳ しっかり差さっていない電気プラグもあるね。</p>	<p>1 <b>電気火災を防ぐ方法を見つけ出せ</b> ～大谷探偵団～</p>  <p>小矢部市立大谷小学校 5年 岩村 真名朋、大鋸谷 駿生、小松 唯花、眞田 和 高橋 伶奈、野手 彩葉、八十住 瑠菜</p> <p>2 </p> <p>3 <b>消防署の方に「電気火災」について聞いてみよう</b></p>  <p>4 <b>電気製品や電気機器から発火</b> <b>電気火災</b></p>  <p>5 <b>電気火災実験盤</b></p>  <p>6 <b>電気火災を防ぐために</b></p> <p>① ・電気プラグはしっかり差し込む ・コンセントのほこりをためない</p>  <p>7 <b>電気火災を防ぐために</b></p> <p>② コードを ・たばねない ・ひっぱらない ・つよくまげない ・ふみつけない</p>  <p>8 <b>電気火災を防ぐために</b></p> <p>③ <b>安全のしるし=PSEマーク</b></p>  <p>9 <b>電気火災を防ぐ</b></p> <p>自分の命 家族の命 家</p>  <p>調査</p> <p>10 <b>調査結果①(PSEマーク)</b></p> <p>液晶テレビ 電源アダプター</p>  <p>11 <b>調査結果②(危険)</b></p> <p>導線がむき出し 電気プラグがしっかり差さっていない ほこり</p> 

- ⑲ 私も、踏みつけられたり、束ねられたりしてあるコードを見つけたよ。
- ⑳ 思っていた以上に危険はたくさんありそうだね！
- ㉑ すぐに、全校のみんなにも電気火災について伝えよう！
- ㉒ 私たちは、①動画や②家庭に配る電気火災防止チェックカードを作成して電気火災について知らせました。
- ㉓ 紹介動画を観た人から、「電気火災を初めて知りました」「家にも、電気火災の危険があるかもしれない」といった声が聞こえたよ。
- ㉔ チェックカードの結果から、コンセントにほこりがある。束ねられている電気コードがある。と答えた家庭が約3割。
- ㉕ また、物で踏まれている電気コードがあったと答えた家庭は、約2割。
- ㉖ チェックカードには、「電気火災につながるおそれがあるところが、見つかりました」という感想がたくさんあったね。
- ㉗ 「電気プラグやコードに気を付けて、正しく使っていきたいです。」といった感想もたくさんありました。
- ㉘ たったの2割、3割なら安心だね！
- ㉙ 本当にそうかな？消防署の方に聞くと、「火災の危険がある家庭が2割～3割もあるということは、いつ火災が起きてもおかしくない数字です」だって！
- ㉚ やっぱ、危険は0になってほしいよね！
- ㉛ そこで、私たちは、火災予防の意識を高めるために、校内にポスターを掲示しました。
- ㉜ 日頃から電気コードの状態を気かけられるように、合言葉も決めよう！
- ㉝ 電気火災を防ぐ合言葉！！
- ㉞ でん 電気コード  
き きちんと点検  
か 確認を！  
さ さあ みんなで  
い いのちを守ろう
- ㉟ これからも、この合言葉で火災予防を周りに呼びかけていきます。
- ㊱ これで、発表を終わります。気を付け、礼。

1 2 **調査結果③(危険)**  
コードの踏み付け 束ねられている

1 3 **① 動画の作成**

1 4 **② チェックカードの配付**  
チェックリストの確認  
・コンセントのほこり  
・コードのふみつけ  
・束ねていないか  
・PSEマーク探し 等  
・取り組んだ感想

1 5 **① 動画を視聴した感想**  
電気火災を初めて知った。  
電気製品や電気コードから火が出るなんてびっくりした。  
安全な製品の印として、PSEマークがあることを知った。  
家にも電気火災の危険があるかもしれない。

1 6 **② チェックカードの結果**  
コンセントにほこりがある。 → **3割**  
束ねられているコードがある。 → **2割**  
物で踏まれているコードがある。 → **2割**

1 7 **② チェックカードの感想**  
電気火災につながるかもしれないところがあった。  
電気コードやコンセントに気を付けて、正しく使いたい。

1 8 **② チェックカードの考察**  
コンセントにほこりがある。 束ねられているコードがある。 → **3割**  
物でふまれているコードがある。 → **2割**  
2割、3割は多い？少ない？ → **火災**

1 9 **③ ポスターの作成&掲示**

2 0 **電気火災を防ぐ合い言葉**  
でん 電気コード  
き きちんと点検  
か 確認を！  
さ さあ みんなで  
い いのちを守ろう




# 野村防火プロジェクト ～校区の火災ゼロを目指して～

高岡市立野村小学校 5年（高岡市立野村小学校 BFC）

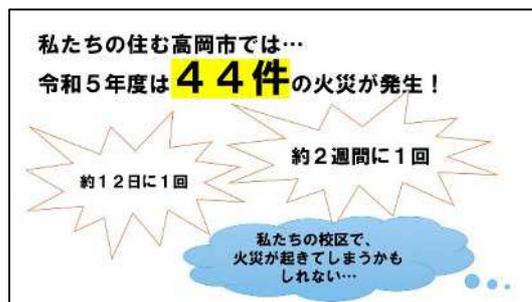
上嶋 一颯 佐久間 琉奈 立野 佳歩 春多 玲那 山田 楓雅

## 1. 防火プロジェクトのきっかけ

♪：消防車のサイレンの音 BGM

「あ！サイレンの音だ！？また近くで火事が起きているの！？身近なところで、こんなに火災が起きているなんて…。火災がなくなったら、安心して暮らせるよね！」

私たちが住む高岡市では、毎年何件の火災が起きているのかを調べてみました。すると、令和5年度は44件も火災が発生していました。これは、約12日に1回、つまり約2週間に1回の間隔で火災が発生しているということなのです！



そこで、私たちは町で起きる火災をゼロにしたいと考えました。校区の火災をゼロにするために、「学校の子供」「家庭」「地域の皆さん」を対象に3つの防火プロジェクトを行うことにしました。

## 2. プロジェクト①「学校」

まずは、学校の子供たちに向けた取組です。私たち5年生はBFCの一員として、火災についてもっと知りたいと考え、6月に高岡市の消防士さんに来てもらい、防火の大切さや消火器の使い方を教わりました。しかし、私たち5年生の家庭の消火器の設置率は、なんと30%。消火器を置いていない家庭の方が圧倒的に多かったのです。

そこで、少しでも消火器の大切さを広めるために、9月に「ファイア・パーク野村」を行いました。消火器を上手に使うためのポイント「ピ・ノ・キ・オ」について全校児童に伝えたり、実際に消火体験をしたりしました。

**これで、子供たちが消火器で火災を防ぐことができるね！プロジェクト①、完了！**



【ファイア・パーク野村での活動の様子】

### 3. プロジェクト②「家庭」

次は、家庭に向けた取組です。5年生115名の家庭に行ったアンケート調査から、コンセントのほこりがたまらないように掃除をしたり、たこ足配線に気を付けたりしている家庭が約75%だと分かりました。実際に、令和5年度の出火原因の上位3つ全てに「電気」や「配線」が関係しています。アンケートから、私たちの家庭4軒に1軒は火災の危険があることが分かりました。

そこで、電気や配線機器が原因で起こる火災を防ぐためのチラシを各家庭に配りました。また、各家庭の電気機器周辺の清掃・点検を呼びかけました。



【各家庭に配付したチラシ】

**これで、家庭の火災を減らすことができるね！プロジェクト②、完了！**

### 4. プロジェクト③「地域」

最後は、地域に向けての取組です。これまで学校の子供や家庭に伝えてきた防火の大切さを地域のお年寄りや園児、施設等にも広めようと活動を行いました。活動後のぼくたちの感想を伝えます。

「ぼくは老人ホーム施設を訪れて、お年寄りの方に防火チラシを手渡したよ。お年寄りの方がとても嬉しそうにチラシをもらってくれたよ。」

「私は保育園に行って、防火ステッカーを園児に配ったよ。ステッカーをよく目にするところに貼ってもらえると嬉しいな。」

「ぼくは校区のコンビニエンスストアに行って、防火ポスターを渡したよ。すぐにお店の壁に掲示してくれて、お客さんも見てくれていたよ。」

「私は学習発表会で体育館に集まったたくさんのお客さんに防火チラシを配ったよ。『ありがとう。火災に気を付けるね。』と言ってくれたよ。」



**これで、地域のたくさんの方々の防火意識を高めることができたね！プロジェクト③、完了！**

これらの他にも、防火標語の掲示や防火を呼びかける動画づくり等にも取り組みました。

**これからも活動を続け、火災予防に努めます。目指せ、校区の火災ゼロ！**



## 地域の防火意識を高めよう

### ～原因を調べ、まず予防～

南砺市立福光東部小学校 5 年生 (福光東部小学校少年消防クラブ)

河合 祐甫 木村 夏朔 古嶋 千鶴 辻 虹々菜  
中田 和花 永松 あずみ 日西 咲希永 町永 悠太



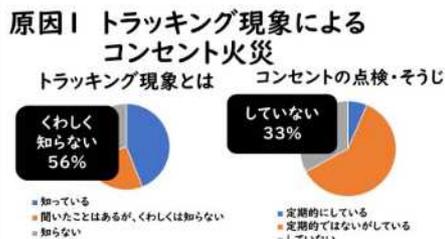
福光東部小学校の4年生は、毎年、福光防火大会に和太鼓演奏で参加し、防火意識を高めています。私たちの福光地域では、45年前、南からの大風にあおられ、116棟が焼ける大火に見舞われました。そのため、火災予防に力を入れ、消防団の活動も活発です。

でも、6月に南砺市内で、立て続けに3件の火災が発生し、令和6年はすでに10件になりました。令和5年の南砺市の火災件数は3件だったので、これは大変なことです。南砺市の火災原因として多いものは、コンセント火災、低温発火、野火です。

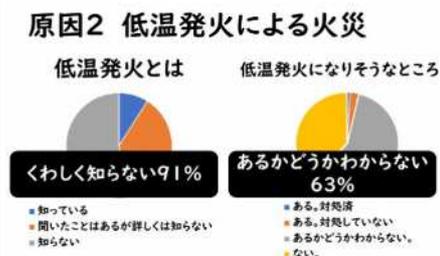
この3つの原因を南砺消防署の方からくわしく聞き、もしかすると家族は、あまり意識していないのではないだろうかと考え、全校の保護者の皆さんにアンケートを採ることにしました。保護者108名のアンケート結果から火災につながる問題点がはっきりしてきました。



原因その1は、トラッキング現象によるコンセント火災でした。くわしく知らない人が56%、点検や掃除をしていない人が33%いることが分かりました。「家のコンセントが黒くこげていたよ。定期的に点検が必要だと伝えよう。」



原因その2は、低温発火による火災でした。それについてくわしく知らない人が91%もいることが分かりました。「低温発火の仕組みよりも低温発火が起こりやすい場所や状況を紹介すると分かりやすいと思うよ。」  
「煙突の回りは、金属以外の不燃材を使うこと。鍋を長時間使うときは、壁から15センチ以上はなすことだね。」



原因その3は、杉枝や枯れ草の焼却による野焼きでした。廃棄物処理法施行令第14条によって禁止されていることを知らない人が10%いました。

「知らない人は少ないけれど、野焼きの煙がよく見られるよ。」

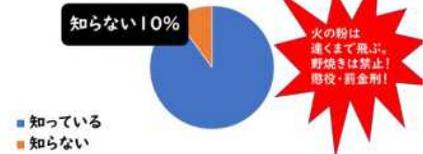
「おばあちゃんに注意したら、昔からやっとなるから大丈夫って言った。」

「注意しても聞いてくれなかったよ。風の強い日は心配だな。」

「野火の火の粉は、200mも飛ぶことがあるらしい。」

「えー、怖いな。野焼きをしないように知らせよう。」

**原因3 杉枝や枯れ草の焼却による野火火災**  
野焼きが法律によって禁止されている



そこで、どうしたら地域の人に予防のために行動してもらえるか考えました。

「アンケートの結果をメールで配信して、HPで公開しよう。」

「学習発表会や地域の行事で直接呼びかけたらどうかな。トラッキング現象を見たとき、びっくりしたよね。家に帰ってすぐに点検したよ。動画を見てもらおう。伝えたいことをポスターやリーフレットにまとめて、配ろう。」

「定期的に点検できるように、行動につながるステッカーを作って、呼びかけよう。」



火災の原因を調べ、点検する大切さを知ったことにより、家族や地域の皆さんに行動を起こしてもらうことができよかったです。

火災の原因は、季節や生活様式によって変わってきます。火事の原因が何なのかを調べ、自分の家や地域で同じような状況があれば、予防することが大切です。「これは火事につながるかもしれない」と、一人一人が防火に対する意識を高め、予防のために行動することによって、火災0の町づくりができます。

令和の時代の防火は私たちにも任せてくださいと言えるように、これからも研究を続けていきたいと思います。「地域の防火意識を高めよう！原因を調べ、まず予防！」

## 「守ろう放生津～大震災に備えよう～」



射水市立放生津小学校 5年生（放生津小学校少年消防クラブ）

石井 真央    コガ リュウチ    竹部 綺乃    棚辺 慶一  
 作道 心    津田 愛莉    野上 実莉    檜物 花楓  
 宮崎 龍哉    森 陸    吉田 楓音

私たちの住む放生津は、能登半島地震で、道路が液状化したり、建物が崩れたりするなどの被害を受けました。そして、放生津小学校に、たくさんの人が避難しました。そんなとき、輪島市朝市通りでの火災のニュースを見ました。

地震によって火事が起きることを地震火災と言います。  
 過去に発生した大地震でも、必ず地震火災が発生しています。



地震火災の原因は、さまざまですが、その過半数が電気火災です。コンセントや電気製品が壊れ、そこに通電すると火花が発生し火災につながります。朝市通りでの火災は、電線のけずれから発火したことが原因でした。また、暖房機器やローソクなどが倒れ、火が燃え移ることがあります。他にも、ガス管やホームタンクがこわれ引火することもあります。火災にはなっていませんが、能登半島地震のときに射水市内でもガス漏れが発生しています。

放生津は、輪島市の朝市通りがある地区と似ているところがあります。

例えば、道幅が狭く、木造住宅が密集していて隣の家との距離が近いところです。古い建物や空き家も多いです。また、海に面した港町で海から強い風が吹くところや、町中に川が流れているところ、高齢者の割合が高いということも似ています。



だから、放生津で地震火災が起こると、朝市通りでの火災のように崩れた家屋や隣の家の屋根から炎が燃え広がることが考えられます。また、風で火の粉が飛び、離れた場所で火災が起きる可能性もあります。

朝市通りの火災では、川や海の水で消火活動が行われました。放生津にも川や海がありますが、川に架かる橋が壊れたり波が来たりする危険性もあるので、状況によって川や海の水を使って消火できないこともあります。そして、高齢者が逃げ遅れることも予想されます。

私たちは、このようになることを防ぐために日頃から地震火災に備える対策が大事だと考えました。次にその対策を発表します。



日頃からできる6つの対策

<p>対策①</p> <p>家具を固定する。物が落ちて電気機器が壊れるのを防ごう。屋外のホームタンクなども固定されているか確認しよう。</p>  <p>家具を固定して 物の落下を防ごう!</p>	<p>対策②</p> <p>整理整頓する。燃えやすい物を、暖房機器の近くに置かないようにしたり、避難しやすいように、出入り口の近くに物を置かないようにしたりしよう。</p>  <p>整理整頓 物を燃やさない 逃げ道の確保</p>	<p>対策③</p> <p>電気配線を確認する。使っていないコンセントを抜いたり、壊れていないか点検したりし、こまめに掃除しよう。</p>  <p>電気配線 電気機器 いつも点検!!</p>
<p>対策④</p> <p>路上駐車をしない。消防車が火災現場に近付けるようにするために、道をふさがないようにしよう。</p>  <p>STOP 路上駐車 道をふさがない!</p>	<p>対策⑤</p> <p>揺れを感知して、電気を遮断する「感震ブレーカー」を設置する。</p>  <p>感震ブレーカーを 設置して 電気火災を防ごう</p>	<p>対策⑥</p> <p>消火器を設置し、使用方法を確認する。私たちは、新湊消防署の方にご協力いただき、水消火器を使う体験をして、消火器を設置し、使用方法を確認することの大切さを知りました。</p>  <p>消火器を設置して 使い方をチェック!</p>

そして、避難所における防火対策も大切です。火気を使う場所を決め、火の始末をしっかりとしよう。

さらに、私たちは放生津を地震火災から守るためには、地域の方と連携することが大切だと考え、これらの対策について、ポスターを作ったり、全校児童や隣の小学校の5年生、地域の方に伝えたりしてきました。



〈校内でのオンライン配信〉

地域の方からは、「大人だけではなく、子供たちも防災について真剣に考えていることを知り、感心しました。改めて、子供たちも含め、地域全体で防災に取り組んでいく必要性を感じました。」という声をいただきました。



〈隣の小学校への発表〉

これからも家族や学校の友達、地域みなさんと協力して、放生津を火災から守っていきたいと思います。



〈地域の方への発表〉

## 火災のない成美校区に ～私たちの提案～

高岡市立成美小学校6年（高岡市立成美小学校少年少女消防クラブ）

浅岡 麗愛奈 岩崎 健人 堂端 華帆 野谷 一華  
南 成 宮崎 舞友 山下 来斗

### 〈火災予防について調べるきっかけ〉

ねえ、ねえ、先月、学校の近くで起こった火事のこと、覚えている？

もちろん覚えているよ。黒い煙がもくもくと上がり、ものがこげた臭いがしていたから、びっくりしたよ。

何台もの消防車が、サイレンを鳴らして、けたたましく現場に向かっていくのも、窓から見えたよ。

大変だったよね。あの時、私、もし、自分の家だったら、どうしようかと心配しちゃった。

よく「火の用心」というけれど、僕の家では、防火対策ができているのかと、心配になったよ。

私は、帰ってから、消火器や火災報知器が家に備えてあるのか、確かめたわ。

でもね、自分の家には備えてあっても、もし、隣の家が火事になったら、結局自分の家も燃えてしまうんじゃない？

そうだね。成美っ子みんなの家庭では、防火のために、どんなことをしているのかな？

私たちは、このことについて、総合的な学習の時間に調べることにしました。

### 〈調べて分かったこと〉

まず、各家庭で消火器等を備えているか、アンケートしました。

すると、一家庭当たり平均で約2.7個で、消防法で義務化されている2個以上をクリアしていることが分かり、安心しました。

しかし、火災報知器の電池が切れているという人もいました。

さらに、アンケート結果の中には、何も備えていない家庭があることも分かり、とても不安にもなりました。

そう言えば、教室の天井にある火災報知器を、定期的に点検している人を見たことあるよ。

### 成美校区の各家庭に火災報知器がある割合



先生方も、消火器が決められた場所に置いてあるか、点検しているようだよ。

点検と言えば、5月に行われたBFC編成式の後、消防団の人たちが、消防車に積んでいる物や車内を見せてくれたよね。

あの時、ホースや防火服、それから町にある消火栓を定期的に点検しているって、言っていたね。

私たちは、県内で起こった火災件数も調べ、その内30%が高岡市であることも分かりました。

主な出火原因が、電気機器によるもので、その中でもコンセントに付いたほこりによる出火が多いことも分かりました。

コンセントやその周辺を定期的に掃除することが、防火につながり、とても大切なことだと思いました。

また、充電器やバッテリーからも出火することがあると知りました。

それは、充電器やバッテリーを落とすことで破損させたり、高温の熱を帯びさせたりするなど、使う人の不注意や間違った取り扱い方が原因だということです。

背負っていたリュックサックから突然出火したっていうニュースもあったね。確か、壊れたバッテリーが原因だと言ってたよ。

コンセントやバッテリーも、ちょっと意識すれば、出火を防ぐことができるんじゃないかな。

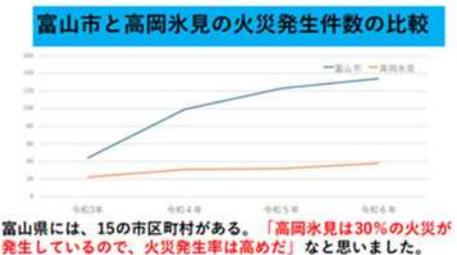
### 〈私たちの取組〉

みんなにも、このことを伝えたいと思い、ポスターや 標語を作って、これらのことを伝えました。

ポスターや標語を見た人は、台所の調理機器が出火原因だと思っていたらしく、ほこりが原因だと知って、驚いていました。

また、今月予定されている学習参観の時に、防火の取組についての発表を行い、保護者の方々に知らせたいと思っています。

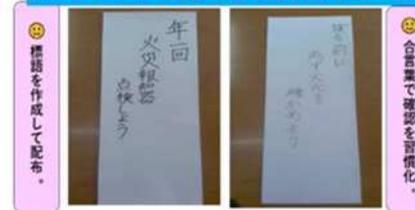
私たちが取り組んだ活動によって、地域全体の防火の意識が高まり、火災が起きないことを願い、活動を続けていきます。以上で、高岡市立成美小学校の発表を終わります。



### 課題を解決しよう！ 成美小学校で取り組んだこと 1



### 課題を解決しよう！ 成美小学校で取り組んだこと 2



### 自分たちの意識変化 自分たちの力で、火災を予防しよう！



## 火事0をめざして —地域とのつながりを大切に—

黒部市立石田小学校 4年

千代愛莉 谷口幸吉 中村彩芭 濱田勝希 宮崎楓和 吉松駿

### 《火事を0にするためにわたしたちにできることはなんだろう》

火事を0にするためにわたしたちにできることはなにか、総合的な学習の時間で考えました。まず、インターネットで火事の原因を調べました。分かったことをもとに、石田小全体にアンケートをおこなったり、クイズ、チラシ、ポスターなどを作ったりしてみんなに関心をもってもらえるように工夫しました。



よびかけカードを全校に配る



ポスターはり付け



全校に放送

そんな取り組みを進めているときに、私たちの住む黒部市で火事が起こりました。私たちが校外学習でバスに乗っているときに、たまたまその火事の大きな煙を見て、火事がより恐ろしいものだ実感しました。私たちはインターネットで調べるだけでなく、もっと地域で起きている火事に注目してみることが大切だと考えるようになりました。

そこでまず、火事の現場にいた消防署の方々に話を聞いてみることにしました。

### 《黒部消防署の方々のお話》

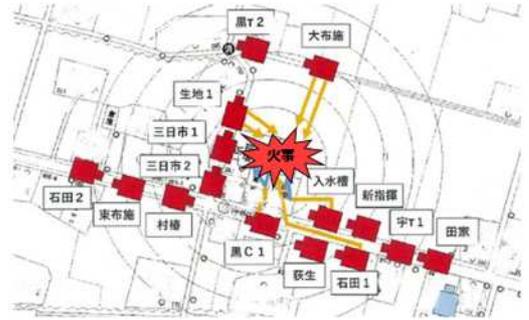
#### ①実際の火事の様子

実際の火事の様子を写真で見せてもらい、その場にいたらこわいと感じました。また、消火の現場は熱いし、火が消えるまでに時間がかかると大変だと聞きました。



## ②現場周辺の道路状況

駆け付けた消防車などがどのように道路に停まっていたかが分かりました。たくさん消防車が来ていることにも気付きました。この火事の際は、石田分団を含めた全部で89人で消火活動をしたという話がありました。石田分団は、どんな人たちがどんな気持ちで取り組んでいるのか、疑問を持ちました。



## 《石田分団(石田消防団)の方々のお話》

石田分団の皆さんの自己紹介を聞いてびっくりしました。自分がよく知ってるお店で働いている人や家の近所に住んでる人だったからです。皆さん、自分の仕事をしながら火事の際には消防署の人たちと一緒に消火活動をしていることが分かりました。分団に入った理由は「地域への恩返し」と、地域に役に立ちたいと思っている人もいました。私たちも朝の挨拶や子供110番の家、防犯パトロール隊の見守りなど、いろんなことで地域の皆さんにお世話になっています。これまで気が付かなかったけど、自分たちの身近な人たちが、私たちの安全や安心を支えてくださっていることが分かりました。

消防署や石田分団の方々の話を聞いて、私たちは火事のない地域を目指して自分たちに何ができるかももう一度みんなで話し合いました。

## 《地域のつながり》

9月に石田地区で行われた防災訓練には、休日にも関わらずクラスの半分くらいの人に参加しました。ボランティアもたくさんいて、自分たちが知らなかった地域のつながりをそこでも見付けることができました。また訓練に参加することで自分もそのつながりの中にいるような感じがしました。

他にも防災訓練の情報は、公民館から出ているお便り、消防署から出ている「にいかわ消防」のお便りがあることも初めて知りました。今まではあまりよく見てなかったけれど、防災や防火などに関する情報がけっこうあると学びました。



## 《わたしたちにできること》

まず私たち一人一人が火事0を意識しながら生活すること、そして消防に関わる活動やお知らせにも関心を持ち、自分たちも地域のつながりの中に積極的に入っていくことを大切にしていきたいと思います。



## 火事から守ろう私たちの八尾地域

### ～電化製品でも火災は発生する！？～

富山市立八尾小学校 5年 八尾少年消防クラブ

大上 瑛士、大上 倫生、柴田 琉生、島崎 一花、戸口 裕雅、松永 大湖

みなさん！火を使わなければ、火災は起きない！と思っていませんか？

八尾小学校でアンケートをとったところ、79%の子供たちが、火に気を付けていれば、火災は起きないと考えていました。

そうそう！ぼくもそう思っていたんだよね。

しかし、実際に火災の原因について調べていくと、あることに気付きました。それは、火を使わなくても火災が起きることがあるということです。その元となるのが電化製品なのです。

電化製品が元で火災が起きることを知って私たちはびっくりしました。

火災の元になる電化製品・・・

その1！IH クッキングヒーターによる火災！

IH クッキングヒーターは様々な安全機能を備えており、火を使わずに加熱することができますので、火災が起きることはないと思われやすいのです。

実際に僕たち5年生の70%が、IHによって火災が起きることはないと思っていました。保護者の方も、ガスを使わなければ火災は起きないと思っておられました。

しかし、IH対応でない鍋を使ったり、IHの上に調理器具ではない物を置いたりすることで、火災が起きることがあります。火を使わなくても、注意が必要なのです。

その2！コンセントによる火災！

え？コンセントでも火災につながるの？

そうなんです！コンセントをさしっぱなしにしていると、ゆるんできてしまうことがあります。そして、その間にほこりが溜まり、火がつくことがあるのです。

たこ足配線も、とても危険です。基準となる電氣量を上回ってしまうと、熱がこもり、火がついてしまうことがあるのです。

僕の家テレビのコンセントの上にほこりがたまっていたなあ、、、

私たち5年生の80%の家庭でたこ足配線をしていました。

気を付けておられるお家は、こまめに掃除したり、電氣量を考えて使ったりしているそうだよ。

私たちが気になったことは、もう一つあります。それは、火災が発生してしまった時の備えは大丈夫なのかということです。

もしも、寝ている時に火災が発生したら、誰が教えてくれるの？

もしも、目の前で火が上がったらどうやって消すの？

これらの「もしも」に対応する、大切な設備があります。それは、  
住宅用火災警報器と消火器です！

住宅用火災警報器は火災によって発生する煙を感知し、音で火災の発生を知らせてくれる大切な機器です。住宅用火災警報器は設置が義務付けられています。

しかし、まだまだつけていない家があるようです。八尾小学校5年生の家の設置率は80%でした。

住宅用火災警報器は設置するだけではなく、使用期限も確認する必要があります。住宅用火災警報器の使用期限は10年間です。みなさんの家の住宅用火災警報器は大丈夫ですか？

消火器を設置している家庭は20%でした。

20%、、、そんなに少なくて大丈夫かな。

消火器にも使用期限があるのです。設置していても、期限が切れてしまっている家庭もあるようです。

これはまずい！もしも火災が発生してしまったらどうしよう！

僕たちはとても心配な気持ちになりました。

自分の家は大丈夫かな？君の家は？みなさんの家は大丈夫ですよね？

このような事実を知り、僕は、僕たちの八尾地域を火災から守りたいと考え、地域のみなさんにも呼びかけることにしました。

僕たちは、防火ポスター作りに取り組みました。できたポスターはこちら！

このポスターは、八尾地域の公民館や公共施設に掲示してもらいました。

僕たちの呼びかけによって、八尾地域を火災が発生しない町にすることができたらいいなあ。

また、僕たちは八尾小学校の仲間にも呼びかけて回りました。防火の意識が八尾っ子全体に広がっていくといいなあ。

これからもみんなで防火の気持ちを高めていきたいね！

はい！子供も、大人も、地域のみんなで、僕たちの八尾地域を守っていきましょう！

守っていきましょう！



## BFC の一員として～呉羽のためにできること～

富山市立呉羽小学校 5年  
 岡嶋あさひ 近郷結星 鈴木颯太 武田七海  
 馬淵湊也 邑崎奏太郎 室林美羽 和田環

私達呉羽小学校5年生は、BFCの一員として私達の住む呉羽地区の火災予防について自分たちが何が  
 できるのか考え、調べたり実践したりしてきました。

### 〈応急担架づくり〉

BFCの一員として防火体験に参加しました。その  
 際に学んだ応急担架づくりは、呉羽っ子にぜひ知って  
 欲しいと思いました。応急担架とは、簡単に作れて  
 軽々と人を持ち上げられる道具です。必要なものは、  
 長く太い棒2本と大きめの布1枚です。学校では、さ  
 すまたと保健室にある毛布で代用しましたが、家で  
 は、物干し竿と毛布でも作ることが出来ます。作った  
 際に時間をはかると、必要なものがその場に揃った状  
 態から、30秒あれば作れるということが分かりました。火災などで複数必要になった時に生かせるよ  
 うにしたいと思い、呉羽っ子に知らせました。

#### ① 防火体験からの学び

応急担架:簡単に作れる・軽々と人を持ち上げられる  
 必要な物:棒×2・布×1



### 〈ストーブ火災〉

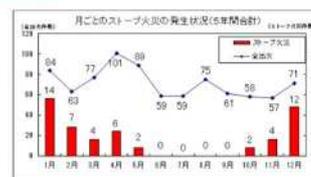
次に、ストーブ火災についてです。冬になるとストー  
 ブの使用が増え、それにともないストーブ火災が増え  
 ていることが分かりました。そこで、寒い冬を迎えるこ  
 の季節、富山県では火災予防についてさらに意識を高  
 めたいと思いました。呉羽小学校でも使っている石油  
 ストーブが、そのうちの半分をしめているので、呉羽っ  
 子全員で予防していきます。

#### 呉羽っ子ストーブ安心宣言

- 1、ストーブの周りを整頓
  - 2、給油をするときは火を消す
  - つ、スプレー缶を置かない
- この3つの取みでストーブ火災をくいとめていきます！

#### ② ストーブ火災に気を付けて

- ・5年間、51件の火災が発生
- ・この時期から徐々にストーブ火災  
 が増加



出典:富山県HP「冬の火災に注意しましょう!」

#### 呉羽っ子ストーブ安心宣言

1. ストーブの周りを整頓する
2. 給油をするときは火を消す
3. 周りにスプレー缶などを置かない



出典:富山県東部消防組合 火災の原因と対策  
 富山県ホームページ 暮らしの安心情報第198号

## 〈消火栓〉

私たちは、呉羽っ子に火災予防に関してアンケートをとりました。その結果、タコ足配線をしないことや燃えやすいものを火の近くに置かないようにしている人はたくさんいました。一方で、もしもに備えて、家に消火器や消化スプレーをおいている人はとても少ないことが分かりました。

そこで、消防法で定められている火災感知器だけでなく、初期消化で大切な消火器や消化スプレーを家に用意するように呼びかけています。また、初期消火できなかった時に重要になる消火栓のことを知っておくことも大切だと思い、消火栓について調べました。

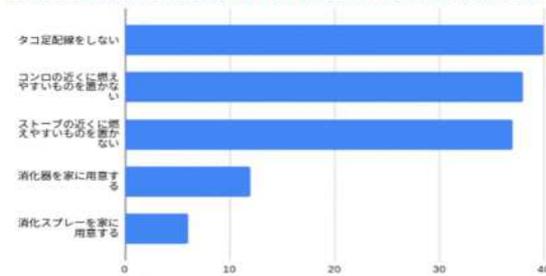
ぼくの家の近くの消火栓です。消火栓は定められている100m～200m間隔内で設置されていました。

また、火事が起き、煙で周りが真っ白になっても消火栓が見付けられるように赤い看板も設置されていました。補助的な役割の防火水槽もありました。消化する際は、大きな建物にある屋外消火栓やホース格納箱の中にあるホースキットで直接消火栓に繋ぎ、近所の人たちと協力して放水します。

呉羽小学校付近の地図です。ぼく達は、消火栓が実際に100m～200mの間隔で設置されているのか、火事が起きて煙で周りが見にくくなった時に見つけられるように赤い看板も近くに設置されているのかについて調べています。僕達の命を守るために、学校の中にも消火栓が沢山設置されていることが分かりました。

私たちは、火災予防について調べたことを家の人たちにも知らせます。これからも呉羽っ子と家の人、地域の人みんな火災予防について備えていきたいと思ひます。

③ 呉羽っ子が火災予防で気を付けていること調べ



① 消火栓とは？



防火水槽とホースキット

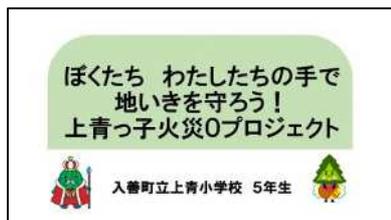


呉羽地区消火栓・防火水槽調べ



# 努 力 賞

## ぼくたち わたしたちの手で地いきを守ろう！上青っ子火災0プロジェクト



入善町立上青小学校 5年生

(入善町少年消防クラブ 上青小学校班)

大浦 美羽 四方 日葵 木村 優里  
澤田 陽 中瀬 明里

わたしたち上青小学校は、「ぼくたち わたしたちの手で地いきを守ろう！上青っ子火災0プロジェクト！」として火災予防に取り組んでいます。

1学期、入善町の少年消防クラブに入隊しました！

この1年間火災予防に努めることを宣言したね。

この時、すでに私たちはやるきMAX!!!



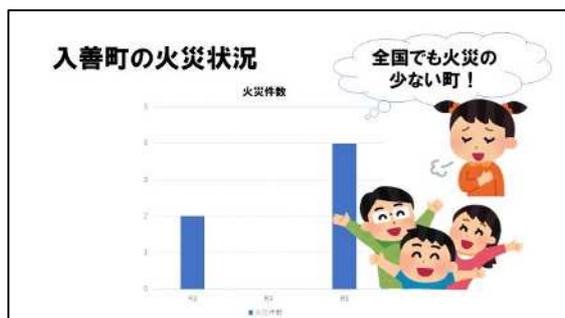
さっそく、入善町の火災件数を調べてみました！

令和3年で2件

令和4年で0件

令和5年で4件！

あれ？思っていたより少ないね！よかった～！安心！



実際に家でどんな火災予防をしているか、5年生でアンケートをとると、「特になし・分からない」と答えた人が全体の約35%もいました！！

全校にも調査をすると

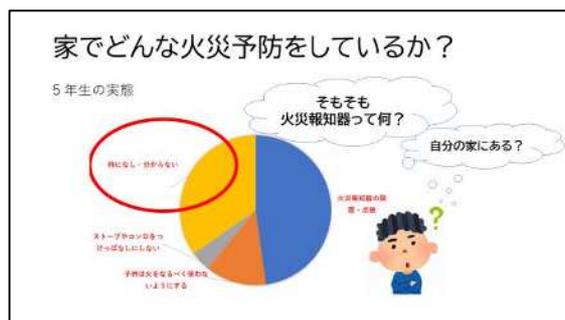
「そもそも火災報知器ってなに？」

「自分の家にあるかどうか知らない」

というように、火災予防について分からないことがたくさんあるようでした。

入善町では火災が少ないけれどだからといって、わたしたちがしっかりと対策ができているとは限らない！

わたしたちが中心となって対策を広めよう！



ということで、入善消防署へ見学に行きました！

入善消防署では、消防士さんが使っている物や火災が起こる原因について教えていただきました。

特に多い原因は、たばこ、たき火、コンロだそうです。

電気機器も原因になるなら、ストーブを使うこれからの季節は要注意だね！！



全校や地域に呼びかけるために、  
4つの班に分かれて呼びかけを始めました。

チラシ班では火災につながりやすい行動チェックなどを  
載せたチラシを作りました。  
全校や近所の家にも配って上青校区全体で火災予防に取り  
組むことができるようにしました！



絵本班では、火災予防について楽しく学べる絵本を作りました。  
各学年にまわして全校で読めるようにしました。

集会班では、全校集会をして火災が起こる原因を劇とク  
イズで紹介しました。  
寝たばこや料理中によそ見をする危険性について劇で説  
明したね。  
どの学年の人も真剣に聞いてくれて嬉しかったね！



ポスター班では火災予防を呼びかけるポスターを作って学校中の目立つ場所に貼って呼びかけました。

また、5年生全員で火災予防川柳を作りました。  
家庭で特にどんなことに気を付けるといいかな  
みんなに分かりやすいキーワードでまとめられないかな  
そうやって考えるなかでこの4つの川柳を全校に呼びか  
けました。

一つ目「充電器 こんなにさして 大丈夫？」  
二つ目「タコ線は 危険の一步 行く後ろ」  
三つ目「よそ見ダメ その一瞬で 火事になる」  
四つ目「消すまでは 離れず見とく ほっとかない」  
このせんりゅうを基に、みんなで気を付けていきます！



これらの取組みによって、火事の対策がわかったと答えた児童が約30%も増えました！やった～！！

これからもわたしたちの手で上青校区を守っていきます！



## 地震にも火災にも負けない！最強の防災術！

氷見市立朝日丘小学校 6年生

菊地 遥慎 岸田 悠希 田中 実篤

宮下 友杜 安井 悠真

これから氷見市立朝日丘小学校 6年生の発表「地震にも火災にも負けない！最強の防災術！」を始めます。

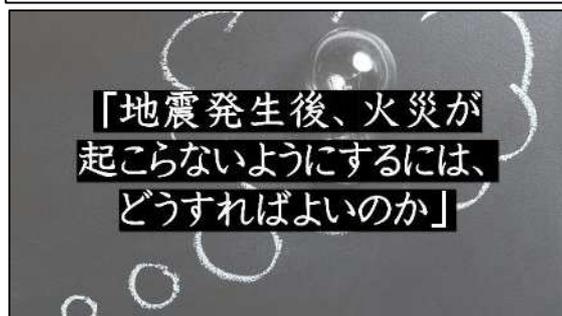
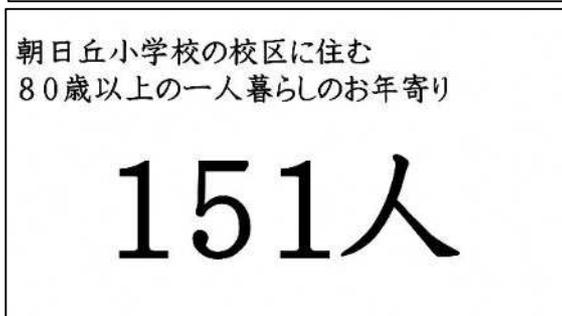
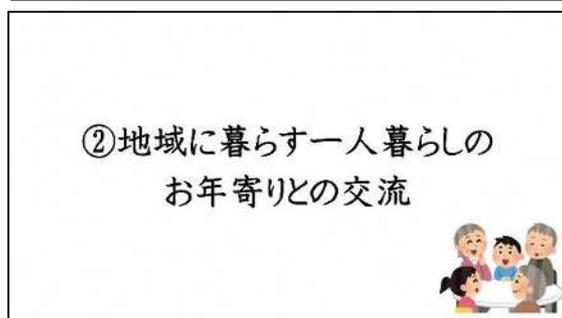
ぼくたちは、「地震発生後、火災が起こらないようにするには、どうすればよいのか」について考えてきました。きっかけは2つあります。

1つ目は、今年の1月1日に突然起こった「大きな地震」の経験からです。今まで感じたことのない大きな2回の揺れ、鳴り響く警報、そして、安心して眠ることができなかった夜を今でも覚えています。この日、近くの輪島市で火災が発生しました。テレビやインターネットで輪島市の火災を見て、地震の恐ろしさと、同時に、火災の本当の怖さを強く感じました。

2つ目は、地域に暮らす一人暮らしのお年寄りとの交流体験です。9月中旬、地域に暮らす一人暮らしのお年寄りに、民生委員の方と秋の音楽会の招待状を配りにいきました。80～85歳までの方に届けたのですが、全員で60名でした。地域の80歳以上の一人暮らしのお年寄りは、151名になるそうです。こんなにも多くの一人暮らしのお年寄りが校区に暮らしていることに驚きました。また、お年寄りの方々は、「あの地震でとても不安な思いをされた」、そして、「今も不安が残る」ということも感じました。

僕たちと地域のお年寄り、地震や火災との関係から、「地震発生後、火災が起こらないようにするには、どうすればよいのか」について考えようと思いました。

最初にお伝えしたいことは、「地震で火災が起こる原因」です。このグラフを見てください。このグラフから、阪神・淡路大震災で、火災が起こった原因の中でもっとも多いものは「電気による発熱体から」ということが分かります。つまり、電化製品からの出火ということです。輪島市での出火原因も、電気配線等からの出火の可能性が考えられるそうです。



その他の原因として、「家屋や家具の転倒によるガス管や電気配線の破損」、「ストーブ等の暖房器具に燃えやすい物が接触する」ことによる火災があります。また、停電が復旧した際、電化製品に電気が通ることによって、火災になることも多くあるそうです。つまり、「地震で家や家の中のものが倒れたり壊れたりすること」が火災につながってしまうということです。通常の火災とは、原因が違ってくることがよく分かりました。



地震は、いつ起こるのか分かりません。次は、地震発生後の火災予防対策について発表します。予防できることはたくさんありますが、その中でも「家や家の中のものが倒れたり壊れたりすること」に関わり、準備に負担がかからない予防法を発表します。



一つ目は、「重いものを下の方に収納する」です。このようにすることで家具の重心が低くなり家具が倒れにくくなります。この図の中ではこの棚が一番倒れにくく、バランスがとれています。



二つ目は「家具転倒防止グッズをつけるです。」

三つ目は「ストーブ等の近くに燃えやすい物を置かない」です。一つ目と三つ目は対策がしやすく、組み合わせて行くと、より効果があると考えられますので、この方法を使ってみてください。



この三つの他にお伝えしたいがあります。それは、お年寄りや身体の不自由な人の部屋は一階にして、隣近所の協力体制を作っておくことです。地震は突然起こります。すぐに逃げられるように、日頃から協力できる関係をつくっておくことがとても重要です。避難所になった朝日丘小学校にも、近所の方と一緒に避難された一人暮らしの方が何人もいました。普段から、近所の方と関係をつくっておきましょう。



僕たちは、今回調べた火災予防についての大切なことを、一人暮らしのお年寄りをはじめとした地域の方々や全校に伝える準備をしています。それらをいかして、予防し、対策をたてて実行してもらいたいです。もちろん僕たちもしっかりと対策をたてて実行していきます。



これで氷見市立朝日丘小学校6年生の発表を終わります。



# 努 力 賞

## ぼくたち・わたしたち 光陽校区防火リーダー ～火災0の 安心な光陽校区を目指して～

富山市立光陽小学校 5年

井ノ口 璃奈 沖井 千夏 小柴 樺月  
笹原 まなみ 中川 埜乃 松本 理紗

### <発表シナリオ>

ねえねえ、知ってる？富山県は、火災発生率が他の県に比べて少ないんだって。

すごいよね！光陽校区は？

光陽校区は、過去5年間に5件の火災が起きているんだって。

(全員 えー！そうなの？)

光陽校区で火事が5件も起きていたなんて、心配だな。

(全員 うんうん。)

そこで、立ち上がったのが私たち防火リーダーです！

防火リーダーとして、家庭、学校、地域に目を向けて6つの取組をしました。

今日は、その中から取組を3つ紹介します！

### 【家庭チーム】

「火災対策アンケート」です。

光陽校区の家庭の状況を知るために、全校児童と保護者の方に協力してもらいました。

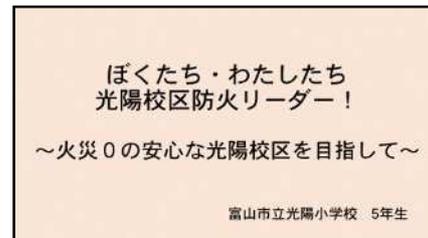
中でも、「コンセントにプラグを挿したままにしていますか？」という項目では、「いいえ」と回答した人が26.5%、「はい」と回答した人が73.5%でした。

この結果から、多くの家でプラグが挿したままになっているということが分かりました。

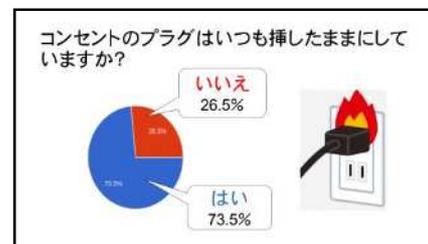
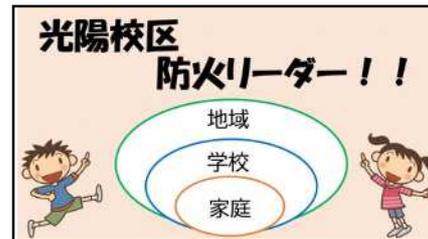
私たちは、この結果を見てヒヤッとしました。

プラグを挿したままにしていると、そこにほこりがたまって、湿気が加わることで発火してしまい、火災につながるからです。

そこで、私たちはアンケートの結果とプラグを挿したままだと、火災の危険性が高くなることを伝えなくてはいけないと考えました。



光陽区域の出火件数（過去5年間）	
令和元年	1件
令和2年	1件
令和3年	2件
令和4年	0件
令和5年	1件



各クラスに、プラグのほこりをこまめに掃除してほしいことや、プラグを抜くことを呼びかけました。



### 【学校チーム】

火災の怖さや、火災が起きたときにとってほしい行動などをスライドにまとめて全校のみなさんへ伝えました。

全校のみんなに、火災の恐ろしさや火災が起きたときにとってほしい行動を伝えることができてよかったです。

さらに、校内のみなさんにも防火対策の意識をもってもらうために、ポスターを掲示し、防火対策の大切さを伝えることにしました。



### 【地域チーム】

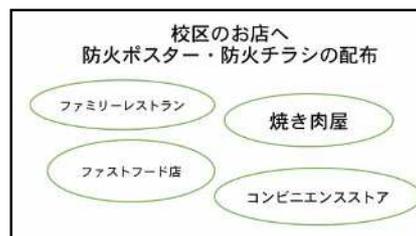
「校区のお店へ、防火ポスター・防火チラシの配布」です。

光陽校区は、飲食店が多い校区です。たくさんあるお店の中から、火を取り扱うお店に火災予防の意識を高めてもらおうと考え、ポスターとチラシをつくりました。

作ったポスターとチラシがこちらです！

お店によって、一人一人違うデザインにしました。色や文字は、見る人が見えやすいように工夫しました。

実際に、ポスターとチラシを配付して、火災予防の協力をお願いできて嬉しかったです。



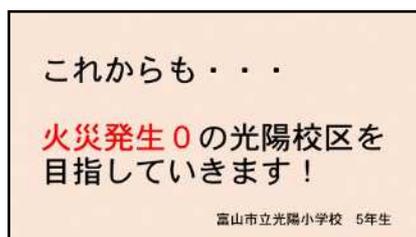
私たちは、これからも家庭で！

学校で！

地域で！

防火の呼びかけを続けます！

目指せ！火災発生0の光陽校区！気を付け、れい！



## 努 力 賞

# みんながすごしやすいまち ～福沢火災予防プロジェクト～

富山市立福沢小学校 5・6年生

宮原ほたる

新井 滯

茶谷 和磨

山岸 由弦

吉川宙翔

### <福沢地区の火災の現状>

福沢小学校は富山市の南側に位置し、校区の90%以上が森林で、学校の周りには生き物がたくさん見られます。

5月、私たちは福沢地区にある富山県立中央農業高校へ校外学習に行きました。中央農業高校では、30年ほど前に牛舎で火災があったそうです。原因は、「電気火災」です。また、福沢地区で過去25年の間に、森林火災が2件起きていたことが分かりました。



### <福沢火災予防プロジェクト ～We love Fukusawa ワークショップ～>

福沢地区で火事が起きると、大規模な森林火災につながる危険があります。そこで、私達は、地域の人が火災予防について学べるワークショップを開催することを計画しました。

#### ○電気火災コーナー

福沢地区に住む方に、家庭での火災予防の取り組みについてアンケートをとったところ、ほとんどの家庭で、ワット数を気にせず電源タップにコードを繋いでいたり、電化製品の標準使用期間を気にせず古い電化製品を使用したりしていたことが分かりました。そこで、過電流、半断線、トラッキング現象について電源タップの模型をつくり、模型を使いながら、過電流の仕組みや半断線の例を小さい子にも分かりやすく説明しました。



○福沢の山を守ろうコーナー

福沢地区をみんなで歩いて調査したところ、たばこのすいがらをたくさん見つけました。また、田んぼや畑で野焼きやたき火をしている場面を見かけました。これらは森林火災につながります。そこで、私たちは森林火災の原因、福沢で起きた森林火災2件の規模、消火時間、消火に携わった人等を調べ、森林火災の消火の大変さを伝えることにしました。



**福沢の山火事がおきた場所 1件目**  
**平成22年 5月6日 小佐波地内**  
 ★燃え広がった広さ 234アール (福沢小学校のグラウンド4.68個分)  
 ★携わった人  
 消防署員 165名 消防団員 152名 合計 317名  
 消防車両18台 ヘリコプター 1機

**福沢の山火事 2件目**  
**令和5年 3月9日 東黒牧**  
 燃え広がった広さ 40アール (福沢小学校グラウンド1個分)  
 携わった人 消防署員 41名 消防団員 23名 合計 64名  
 消防車両10台

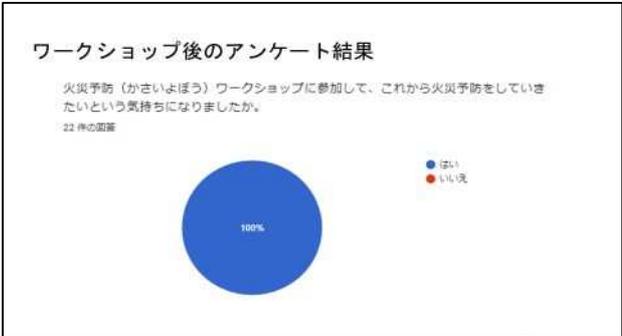
また、私たちは福沢地区に親しみのある双子山の10000分の27サイズの山の模型をつくり小さな火が、どんどん燃え広がって大きな火災につながることを、みんなに知らせました。そして、最後に大きな火の中心を狙って消火する消防士さんの大変さを知ってもらうために、消火体験ゲームを実施しました。



<まとめと今後の活動>

ワークショップ後に参加者にアンケートを記入してもらい、参加者全員が私たちのワークショップに参加して、火災予防をしたいという気持ちが高まったと答えてくれました。参加者からは、「電源タップの危険性、電気火災について忘れていたことや知らなかったことが多かった。家電のワット数、電化製品の使用期間等をよく確かめたい。」「キャンプ等、森林の近くでの火の使い方に気を付けようと思う。」などの感想をいただきました。

今回の研究を通して、私たちは家庭に潜む火災、地区に潜む火災について学ぶことができました。地区の方に自分たちで調べたことを紹介し、地区全体で火災について考えるきっかけになり、とてもうれしいです。これからも福沢地区全体で火災予防について取り組み、火災0の住みやすい福沢地区をつくっていきたいです。



# 講 評 等

## 講 評

(株)北日本新聞社編集局社会部  
部長 川渕 恭司

本日、出場されました13校、88人の皆さんの発表を聞き、火の怖さや防火意識について改めて考える機会となりました。

どの学校の発表もとても考えられおり、皆さんが学校や家庭で一生懸命に練習したと思うと、とても胸が熱くなりました。

まず特選の立山小学校は法被姿で出てきた瞬間、元気いっぱいの様子に圧倒されました。発表の中では雄山神社のことに触れられていました。地域に愛されている神社や文化財は火災が発生すると、長い歴史や伝統が一気になくなってしまいます。神社や地域住民の皆さんが力を合わせて、火災から守っていかうとする取り組みにうまく焦点が当てられていました。また、消火器の使い方でも「ピン、ポン、パン」と大変言いやすく、印象に残るキーワードで紹介してくれました。地域の宝である文化財を守っていく意識を高めていただければ幸いです。

続いて、金賞の大谷小学校の発表はチェックカードを作り、何割の人が火災に気をつけていたとか、いろいろとデータを出しながら、分かりやすい発表を心がけていました。探偵団となって、皆さんが火災原因を発見していくような手法は新鮮に映りました。

小矢部市では2年前に浅地というエリアで大きな火災がありました。幸い、けが人はいなかったと記憶していますが、春先に小矢部市や南砺市に吹き下ろす強い南風にあおられ、火がたくさんの家に燃え広がりました。その時、現場で取材し、遠くから写真を撮りましたが、体が燃えるような熱さを今も覚えています。消防士の方々が懸命に消火活動をする姿を見て、改めて火の怖さ、火災に気をつけなければいけないと強く思いました。

銀賞の野村小学校は、市内の44件の火災を「2週間に1回発生している」と大変分かりやすい言い方で、火災がこんな身近にあるということを伝えてくれました。学校・家庭・地域で1つ1つ課題をクリアし「ミッション完了!」とテンポよく発表する姿も印象的でした。

同じく銀賞の福光東部小学校は、屋敷林から出る木の枝を田畑で燃やす「野焼き」を取り上げました。昔はよく見られた野焼きは法律で禁じられ、煙が近所迷惑になって警察に通報されるというケースもあります。砺波エリアの散居村に特徴的なせん定枝の処理、野焼きといった地域課題に深く迫っていたように思います。

今年を象徴する発表もありました。元日の1月1日に発生した能登半島地震についてです。放生津小学校と朝日丘小学校は、地震による火災について注意を呼びかけていました。地震による火災の多くは電気関係が原因であり、輪島の火災もその可能性が高いそうです。地震から11カ月ほど経過していますが、富山県内でも液状化や道路損壊などいまだに地震の爪痕が残り、完全に復旧はしていません。二つの学校は海沿いで津波の危険性もあり、高台に避難するというケースも含め、身近に迫る問題としてよく考えられた発表でした。

新聞記者は火災が発生すると、消防士と同じく現場に急行します。現場を取材し、

記事を書くためです。実は火災を伝える記事は本当は書きたくないですし、ない方がいいのです。それでも記者が火災の現場に行き、写真を撮影して記事にするのはなぜかという、家や財産、人の命を一瞬で奪う火災が少しでも減ってほしい、記事を見た人に、火の取り扱いに十分に気をつけなきゃいけない、そう思って欲しいからです。

今日発表した小学生の皆さんも新聞記者と同じ役割を担っています。というのは、自分自身が火の取り扱いに注意することはもちろん大事ですが、それ以上に、今回学んだ火の恐ろしさ、火災原因などを家族や友人、そして地域の人にたくさん伝えることがもっと大切だからです。火災について、たくさんのことを学んだ皆さんは記者と同じように、まさに「小さな消防士」として、富山県から火災がなくなるよう、多くの人に今日発表したことを広めて欲しいと思います。

火災が減ると、ここにいらっしゃる消防関係の方の出動も減りますし、新聞記者も現場に行かなくて済みます。何より皆さんの大切な命や財産を火災から守ることが最も重要なことです。火災の原因をなくし、1人1人が防火を意識することで火災は減らすことができると信じています。

最後にここまで熱心にご指導されました、学校関係者の皆さん、消防関係者の皆さん、そしてご家族の皆さんの温かな見守りに、心より敬意を表しまして、簡単ではありますが、講評とさせていただきます。

本日は、元気いっぱいの発表、どうもありがとうございました。

## 第70回

# 富山県小学生火災 予防研究発表大会

## 審 査 員

富山県教育委員会教育みらい室小中学校課指導主事	浦 島 忠 史
(公財)富山県消防協会事務局長	加 藤 弘 樹
(株)北日本新聞社編集局社会部長	川 淵 恭 司
(一社)日本損害保険協会富山損保会長	下 村 貴 之
富山県危機管理局参事・消防課長	辻 井 秀 幸
北日本放送(株)経営管理局総務人事・業務改革担当部長	西 井 清 規
富山県女性防火クラブ連絡協議会長副会長	馬 場 友 子
富山県厚生部こども家庭室こども未来課副主幹	廣 田 崇 志

(敬称略・五十音順)

第 70 回 富 山 県 小 学 生  
火災予防研究発表大会発表文集

令和 6 年 12 月 発行

編集・発行  
【富山県危機管理局消防課】